

2006年11月24日
博報堂エルダービジネス推進室

HOPEレポートXXI HOPEサーベイ2006「団塊世代 人生60年の棚卸し」

これまでの人生を、男性は平均66.6点、女性は平均72.7点と採点。 概ね「幸せな人生」と評価。

「振り返って、そう思うこと」は、「社会的な地位や名誉を得た」よりも「家庭に恵まれた」こと。人生で最も幸せだったのは「20代」が最多。女性は「50代になると再び肯定的」だが、男性は「右肩下がり」。世代として「ひとくくりにされたくない」人が、約4割も。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しております。このたび、全国の50～64歳のエルダー2036名に調査した「第5回HOPEサーベイ」の中から団塊世代（56～58歳458名）に焦点を当て、目前に迫った60歳という年齢を区切りに「人生60年の棚卸し」について調査した結果をまとめましたので、ご報告いたします。

調査によれば、約7割の人が、60歳という年齢を「人生の節目」だと感じていました。また、これまでの人生を振り返って採点してもらったところ、男性平均は66.6点、女性平均は72.7点となりました。さらに、団塊男性の約6割、団塊女性の約8割が「70点以上」という高得点をつけています。

また、「人生を振り返って、そう思う」項目として最多となったのが「家庭に自分の居場所がある（92.8%）」でした。次いで、「自分を必要としてくれる人がいる（89.5%）」「よき配偶者やパートナーに恵まれている（72.5%）」となり、団塊世代は「家族に恵まれたこと」を幸せの最大の要因と考えているようです。続いて「健康に恵まれている（70.0%）」「近所との関係がいい（68.3%）」「なんでも話せる友人がいる（59.6%）」などが高くなっています。この3項目については、いずれも女性のほうが高い数値を出していることから、健康に不安を抱え、職場以外での人間関係が薄い団塊男性の姿が浮かびあがってきます。

最も幸せだった時代については、男女ともに「20代（男性76.6%、女性81.7%）」を挙げました。ところが「20代」をピークに下降の一方をたどる男性と比べ、女性は「50代」になってからの人生を再び「よかった」と肯定的に評価していることが特徴的です。

世代認識としては、自分達は「高度経済成長とともに歩んだ世代（50.0%）」「ビートルズ世代（45.0%）」「受験戦争の世代（44.3%）」などの回答に代表されるように「競争と音楽の世代」だと感じていました。

逆に、言われてうれしい表現のトップ3は「ビートルズ世代（22.9%）」、「フォークソング／ニューミュージック世代（19.0%）」「自由を大切にす世代（18.6%）」でした。ただし、「あてはまるものがない」を選んだ人が36.0%もいたことも、今回の調査でわかりました。

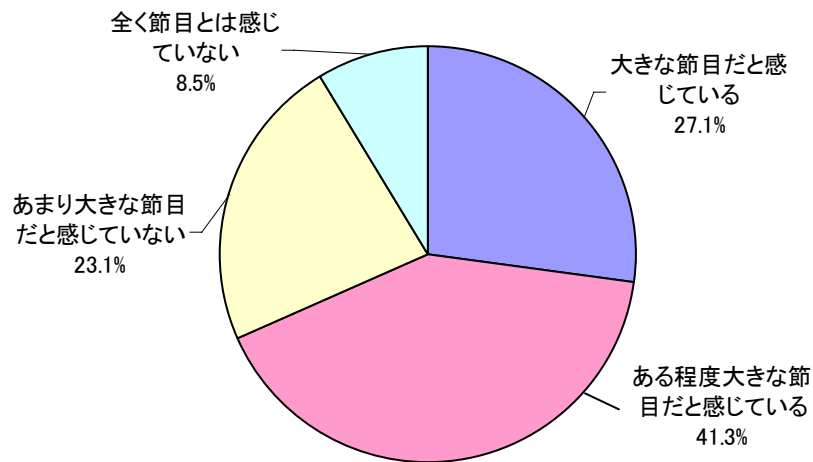
調査概要 調査時期：2006年3月
調査地域：全国
調査対象：エルダー世代（50才～64才）2036名（うち、分析対象は団塊男女458名）
調査方法：インターネット調査

添付資料：調査データ

◇ 団塊世代の約7割にとって、60歳という年齢は「人生の節目」。

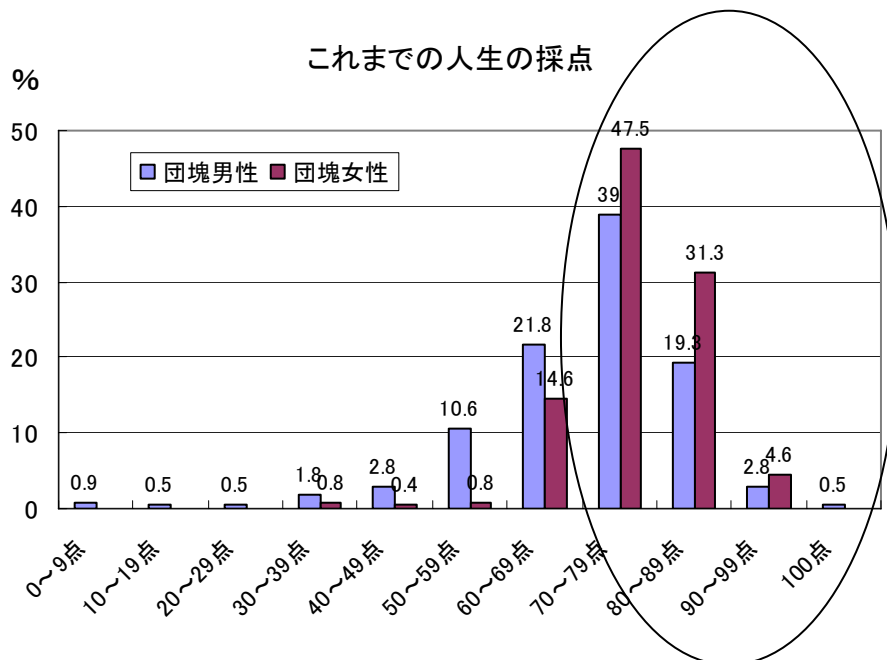
団塊世代の男女に、目前に迫った60歳という年齢をどう捉えているのか尋ねたところ、「大きな節目だと考えている(27.1%)」と「ある程度大きな節目だと感じている(41.3%)」が目立ち、合計で約7割(68.4%)の人が「人生の節目」と捉えていることがわかりました。定年という大きな区切りの年齢を控え、生活全般の変化と見直しの必要性を強く意識する年齢なのでしょうか。

60歳をどう捉えているか(団塊男女計)



◇ 団塊男女が自分のこれまでの人生を振り返って採点すると、男性平均は66.6点。女性平均は72.7点。人生は、概ね「幸せだった」と評価。

これまでの人生を振り返って採点してもらったところ、団塊男性の約6割(61.6%)と団塊女性の8割(83.4%)が「70点以上」をつけました。平均をみると、団塊男性66.6点、団塊女性72.7点となっており、どちらも概ね「幸せだった」とポジティブに評価しているようです。特に女性は、35%以上の方が「80点以上」と回答しており、女性のほうが人生に対する満足度が高いようです。



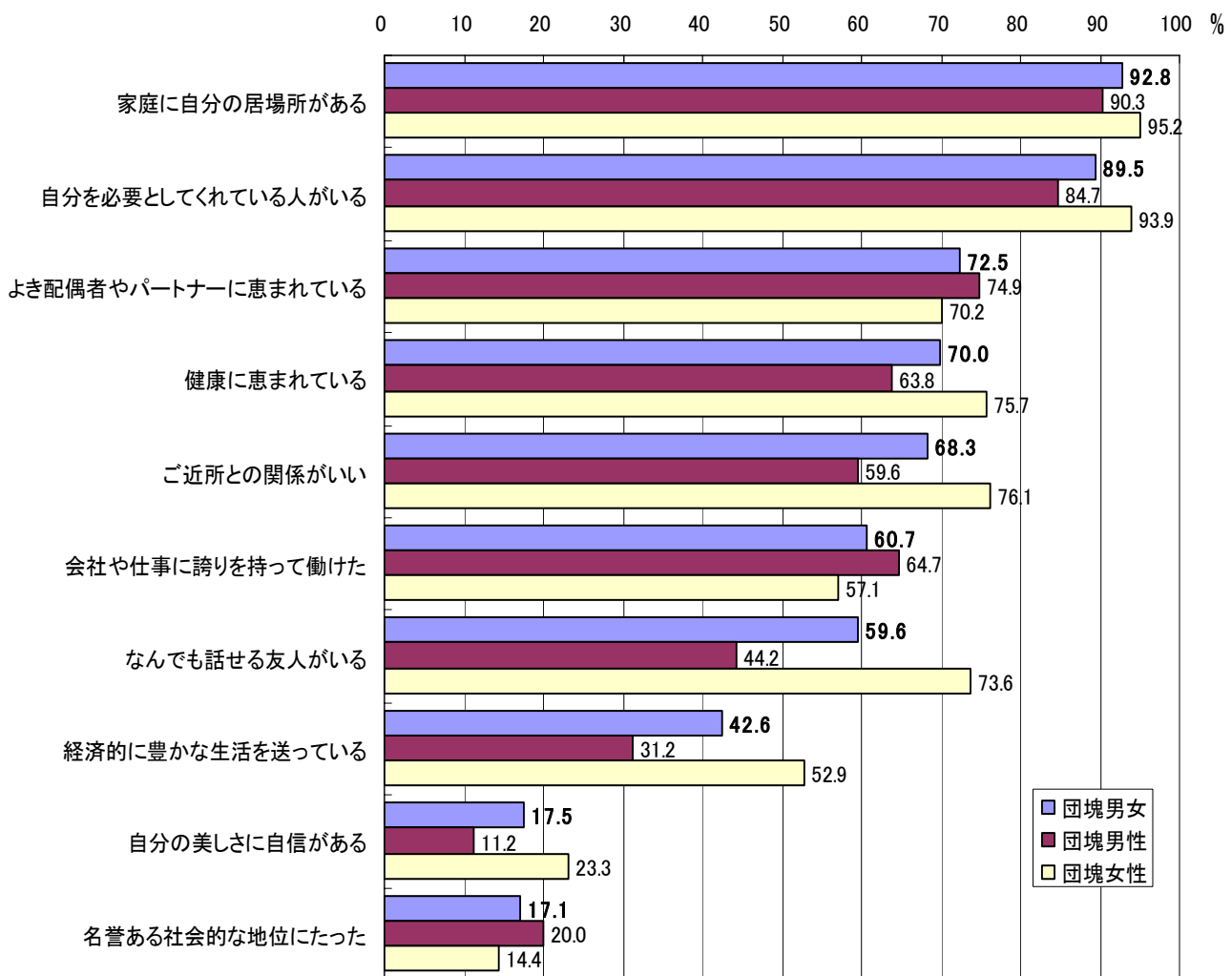
- ◇ 「人生を振り返って、そう思う」のは、「家庭に恵まれたこと」。相対的に、「会社や仕事に誇りをもって働けた」「名誉ある地位にたった」など会社や社会的なことは低め。これまでの人生が幸せだった理由は、家庭の充実にあります。

前述の調査結果によって、人生を幸せだと評価している人が多いことがわかりましたが、「人生を振り返って、そう思う」項目を尋ねたところ、「家庭に自分の居場所がある（92.8%）」「自分を必要としてくれている人がいる（89.5%）」「よき伴侶やパートナーに恵まれている（72.5%）」という順で高くなっていました。どうやら、人生が幸せかどうかを決める最大のポイントは、家庭の充実度にあるといえそうです。

次いで高いのは、「健康（70.0%）」、「近所との関係がいい（68.3%）」「なんでも話せる友人がいる（59.6%）」でした。この3項目については、いずれも女性のほうが肯定的になっていることから、自らの健康を気遣い、また積極的に人間関係を築いてきた団塊女性と比べ、健康に不安を抱え、職場以外に仲間が少ない団塊男性の姿が浮かびあがってきます。

また、「経済的に豊かな生活を送っている」項目で、女性が52.9%であるのに対し、男性は31.2%でした。こうした意識の違いは、妻が家庭の財布の紐を握っている場合が多いからかもしれません。

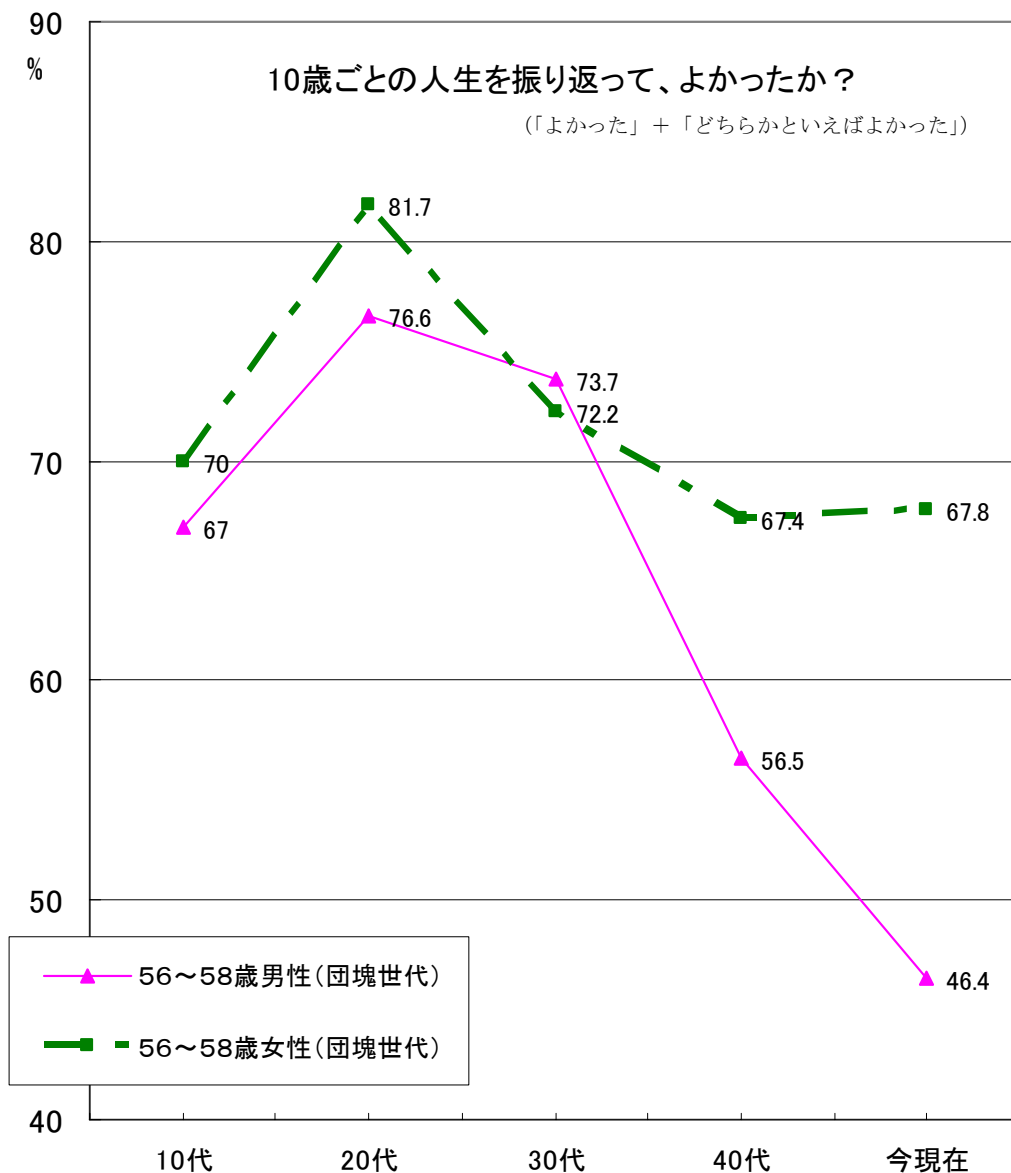
「人生を振り返って、そう思う」



- ◇ 人生で最も幸せだった時代は、団塊男女ともに「20代」が最多。男性はその後、どんどん下降していくが、女性は「50代」になって再び肯定的な反応が増加。

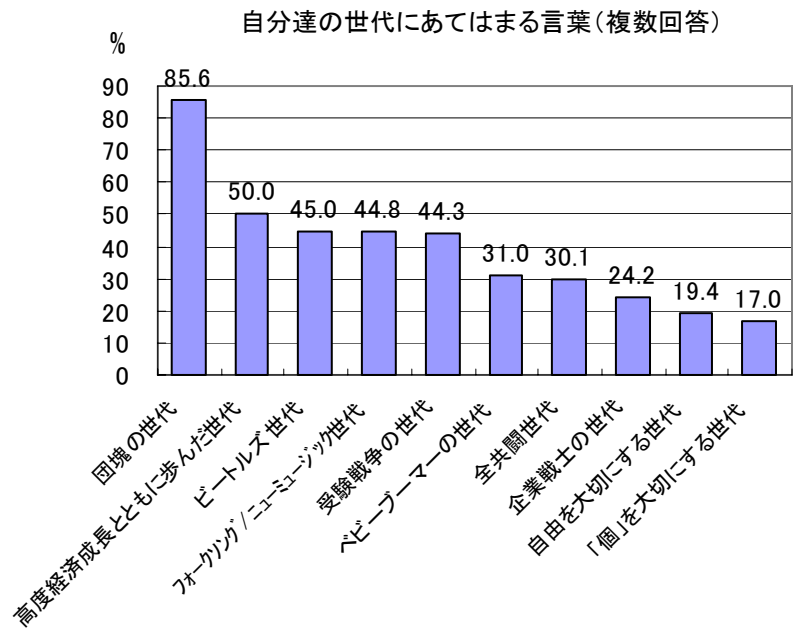
10年単位で人生を振り返ってもらったところ、団塊男女は共に「20代（男性 76.6%、女性 81.7%）」を最も肯定的にとらえていました。この世代特有の厳しい受験競争を終え、ビートルズやフォークソング、ジーンズなどに代表される若者文化を謳歌した時と重なる時期です。

その後、男性は下降する一方で、現在（50代）となると 46.4% になってしまいます。一方、女性は、50代では上昇に転じ、現在は 67.8% という結果が出ました。これは、子育てやローン返済を終え、自由な時間とお金を手に入れて、再び自分自身の楽しみを追求できるようになる時期と重なるのかもしれませんが。



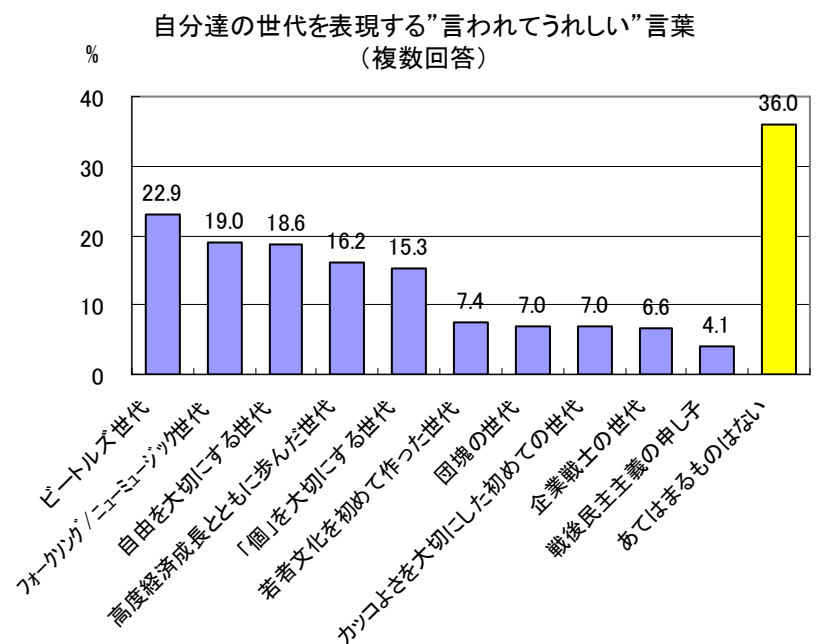
- ◇ 自分達に当てはまる言葉は、「団塊の世代」がトップ。次いで、「高度経済成長とともに歩んだ世代」「ビートルズ世代」そして「受験戦争の世代」。

団塊世代に、「自分達の世代に当てはまる言葉」を選んでもらったところ、最多は「団塊の世代 (85.6%)」でしたが、続くのは「ビートルズ世代 (45.0%)」や「フォークソング/ニューミュージック世代 (44.8%)」といった音楽関係でした。またこれと並んで、「高度経済成長とともに歩んだ世代 (50.0%)」や「受験戦争の世代 (44.3%)」「全共闘世代 (30.1%)」、「企業戦士の世代 (24.2%)」などが目立ちました。団塊世代には、常に競い、闘ってきたという自負があるようです。



- ◇ 言われてうれしい言葉も、「ビートルズ世代」、「フォーク・ニューミュージック世代」。ただし、世代としてひとくくりにされることへの抵抗感が、「あてはまるものなし」も約4割。

「自分達の世代を表現する“言われてうれしい”言葉」を尋ねたところ、こちらも音楽を体現する言葉が上位に並んでいます。また、「自由を大切にする世代 (18.6%)」「『個』を大切にする世代 (15.3%)」などの回答も目立ちました。ちなみに、「あてはまるものがない」を選んだ人が、36.0%いることも注目されます。ボリューム世代として常にメディアの関心を集め、ひとくくりにラベリングされ続けてきたことへ抵抗でしょうか。



ご参考

■エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

■これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポートⅠ ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポートⅡ 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポートⅢ 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポートⅣ 情報縁：3世代コミュニケーション (2001年9月・既報)
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPE レポートⅤ 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPE レポートⅥ つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPE レポートⅦ 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPE レポートⅧ 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPE レポートⅧ 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPE レポートⅩ 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」 (2003年3月・既報)
11. HOPE レポート増刊『『新しい大人文化』創造のヒント『開け ひま』』 (2003年10月・既報)
12. HOPE レポートⅩⅠ 「50代夫婦のパートナー評価」 (2003年12月・既報)
13. HOPE レポートⅩⅡ 「エルダーの食生活調査」 (2004年2月・既報)
14. HOPE レポートⅩⅢ 「エルダーと健康調査」 (2004年4月・既報)
15. HOPE レポートⅩⅣ 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」 (2004年7月・既報)
16. HOPE レポートⅩⅤ 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」 (2004年9月・既報)
17. HOPE レポートⅩⅥ 「団塊世代のエンタテイメント実態調査」 (2005年4月・既報)
18. HOPE レポートⅩⅦ 「団塊世代のファッション実態調査」 (2005年7月・既報)
19. HOPE レポートⅩⅧ 「エルダーの情報縁とタッチポイント」 (2005年9月・既報)
20. HOPE レポートⅩⅨ 「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」 (2005年10月・既報)
21. HOPE レポートⅩⅩ 「団塊男性～定年後に目指す『男のロマン』実態調査」 (2006年5月・既報)
22. HOPE レポートⅩⅩⅠ 「HOPEサーベイ 2006 団塊世代 人生60年の棚卸し」（今回）

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。

（11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です）